

人材不足に対する施策について（継続）

桐生市内事業所の人手不足は深刻な状況を迎えております。採用にて人材確保を試みても雇用につながらないとの声が多数あることや、桐生商工会議所が定期的に行っている景況調査においても常に経営課題の上位となっております。また、生産年齢人口の減少が採用を困難なものとし事業の継続が難しくなりつつあります。

こうした労働供給制約社会を生き抜くためには、限られた人員の中でも「働きがい」と「働きやすさ」を高め、個々の成長と多様性を原動力とする「少数精鋭の成長モデル」へと変革を果たしていくことが必要であると考えます。シニア、女性、外国人材、障がい者など「働き手の多様化」を進めることは人財確保の有効な手立てとなり得るばかりでなく、ビジネスでの多様な視点を生かす効果が期待できるので、活躍躍進のための下記の対策の実施をお願いいたします。

1. シニア人材と中小企業とのマッチング支援
2. 仕事と育児の両立に向けた支援の強化
3. 中小企業の外国人材の適正な受入れと定着に向けた支援の強化
4. 企業の障がい者受入れ環境の整備に向けた支援の強化

桐生市からの回答

国内労働市場における人材不足が社会問題化する中、群馬県内12市で高齢化率が最も高く、生産年齢人口も減少を続けている本市においては、人材不足はより深刻な状況にあると言えます。市内企業からも、人材確保に苦労される声を数多く伺っているところであり、人材不足解消に向けての取組みは喫緊の課題と認識しております。

このような状況下において、企業の持続的な発展等を推進していくためには、省力化・省人化に繋がる設備導入やDX活用による生産性向上等を推進するほか、従業員が意欲・能力を存分に発揮できる環境づくりや、働き手の多様化、就業機会の拡大等を複合的に推進していくことが重要と考えております。

市ではこれまでも、国・県や貴所を始めとする関係機関等と連携を図りながら、生産性向上や経営改善等に取り組む市内企業への支援に努めているほか、働きやすい労働環境づくりや雇用促進を含めた就労対策についても積極的に取り組んでまいりました。また昨年度は、人材採用サービスに強みを有する株式会社リクルートと、県内初となる「桐生市の地域活性化に向けた地域定着と雇用促進に関する協定」を締結し、市内企業の人材確保に向けて、貴所にも共催いただく形で、魅力ある求人情報の発信強化を図るためのセミナーも開催いたしました。魅力ある求人情報の発信によって、複数の市内企業が新たに雇用することができたとの実績も伺っているところです。

いずれにいたしましても、地域産業の活力向上等を推進していくためには、人材不足対策に取り組む市内企業を総合的に支援し、成長を促していくことが重要と認識しておりますので、今後も貴所を始めとする関係機関等と連携を図りながら、取組みを進めてまいりたいと考えております。